



令和6年度開始の  
森林環境税への対応は  
杉田 勝典（公明党）



問／森林を多く持つ当市に森林環境譲与税の配分を多く受けるための取り組みをどう考えるか。  
答／国に基準見直しの要望書を提出した。配分が増えた場合には、活用したい。

**身分証明書提示で完了する「書かない窓口」を**

問／市役所窓口の手続き時間短縮のため、身分証明書を提示すれば書類に記入せず複数の手続きが済む「書かない窓口」を導入してはどうか。  
答／スマート市役所への転換を推進し、令和5年度に導入する汎用オンライン申請システムが、書かない窓口に向けた環境整備の一つになる。

**北前船の歴史文化を活用したまちづくり**

問／北前船関連の歴史的建造物を滞在型宿泊観光施設として活用してはどうか。  
答／現存するものが少なく、民家として使われているため難しい。古民家や雁木町家の宿泊施設及び飲食店などへの利活用を検討したい。

**謙信公生誕500年に向けた意気込みは**

問／謙信公生誕500年に向けて立ち上がった任意団体に対し、どのような期待をしているか。  
答／市民主体の活動の広がり望ましい。市が主体の取り組みに、思いを持つ地域の方々加わることで、春日山を後世に繋げていきたい。



4月施行、部活動の地域移行について聞く！  
こんどう 彰治（政新クラブ）



問／部活動の地域移行について、この間、協議されてきたが、見切り発車の感も否めない。部活動は子どもが主役だ。検討経過や準備体制、スケジュール、行政支援などについて聞きたい。  
答／推進委員会では、多くの課題が想定される中、子どもの利益の視点から可能な限り速やかに取り組みを前に進めたい思いを共有した。令和5年度から原則として休日は部活動を行わないこととし、部活動指導ガイドラインの一部を改定する。中学校長会では、令和5年度は各校長の判断で休日の部活動を年間20日以内で認め、6、7年度で段階的に減らす方向で検討していると聞く。地域における環境整備では、休日の部活動の受け入れに関して、各種競技団体や市スポーツ協会、SCネットと連携して検討を進める。支援の対象となる指導者資格は、市スポーツ協会加盟団体とSCネットの指導者を前提に、教員資格や日本スポーツ協会の公認資格を有するか、次年度に市教委で開催するコーチング研修会の受講を要件とする。地域スポーツ活動の参加経費は、受益者負担が原則だが、全ての生徒が希望する活動に参加できるように、財政的な支援策も国の施策を注視し検討する。



問／新上越斎場については、令和6年12月の供用開始に向け、令和5年4月から建設が進められるとのことだが、供用開始後の頸北斎場のあり方及び妙高市経塚斎場の使用料補助について、どのように考えているか。  
答／頸北斎場については、新上越斎場の供用後も火葬需要がピークを迎える令和17年から21年までは使用することとし、その後のあり方については、施設や火葬件数などの状況と地域の意見を踏まえて検討していく。また、妙高市が管理運営している経塚斎場については、新上越斎場供用後も、今の経塚斎場が供用されている間は、中郷区、板倉区の住民が利用する場合に限り使用料の補助を継続する。



新上越斎場竣工後の  
頸北斎場、経塚斎場は  
橋本 洋一（久比岐野）



新上越斎場 正面外観イメージ